

平成19年12月10日（月）

○議長（中上良隆君） 順番7、8番 岡本君。

〔8番（岡本昌次君）登壇〕

○8番（岡本昌次君） 議長の許可を得ましたので、私が今日のトリで、市長からゆっくりやってくれということをお聞きしたので、安心してさせていただきます。安心してするのはいいんですけども、私のやつは簡単明瞭でございますけどさせていただきます。

私の質問は一つでございます。都市計画道路・西之島伏原線の早期着工についてということでございます。この件は、私も町議のときに、16年に1度させてもらいました。それを再度させていただきます。市になってはじめてでございますので、市の幹部の方は十分ご存じとは思いますが、一般の方はまだはじめてだと思いますので、させていただきます。

都市計画道路・西之島伏原線は、計画地域周辺の交通の利便性と経済発展をめざして、数十年前に都市計画決定され、重要な計画路線として位置付けられています。しかしながら、本路線は計画決定後数十年を経過している現在においても、なお着工されておりません。このため、計画路線周辺住民は交通不便に加え、経済の発展もままならず大変困っております。早期着工を強く望んでおります。

一方、本計画路線につながる両方の都市計画道路は既に完成しており、本路線だけが取り残された状況にあります。また、本計画路線の東部、市道高野口18号線より東方約300mは既に一部買収され、市有地となっており、まだ着工できないこと自体、極めて疑問に感じるところであります。

ついては、このような重要かつ機が熟した計画路線が、なぜこんなに遅延しているのか

説明を求めるとともに、早期着工を強く要望する中で、合併特例債活用の有無を含め、着工の見込みをお聞きいたします。

第一回の質問はこれで終わります。

○議長（中上良隆君） 建設部長。

〔建設部長（坂本信良君）登壇〕

○建設部長（坂本信良君） 議員おただしの都市計画道路・西之島伏原線は、昭和18年6月1日に都市計画決定され、幅員12m、延長2,210mの道路で、起点は都市計画道路・大野下中線、終点は都市計画道路・伏原田原線となっており、両路線とも整備済であります。

本路線は計画決定から既に65年を経過しており、計画法線の沿線状況が大きく変化し、特に、起点における交差点計画は道路構造上困難な状況となっております。また、高野口出張所から和歌山県立伊都高等学校までの区間の一部では、良好な住宅地が形成されている状況にあり、道路法線を見直す必要があると思われま。

このような状況の中で、市道高野口18号線から都市計画道路・伏原田原線の区間において、約1,300㎡を昭和49年7月に取得しております。また、和歌山県において、県下全域の長期未着手都市計画道路の見直し作業中で、各路線の方向性を検討し、変更を行っているところでございます。

今後、市の都市計画道路の整備を進めるにあたっては、県の見直し結果と整合を図りながら、旧橋本市、旧高野口町の都市計画区域の一元化、橋本市長期総合計画の策定、橋本市都市計画マスタープランの策定の手続きを行い、路線の整備手法並びに法線変更、及び整備優先順位を決定し、整備することとなります。

したがって、当該路線の整備年次等については、お答えできる状況下にありますので、ご理解のほど、よろしく願いをいたします。

○議長（中上良隆君）8番 岡本君、再質問ありますか。

8番 岡本君。

○8番（岡本昌次君）合併して、はや1年9カ月たちましたけれども、今部長がおっしゃったように、昭和18年、六十有余年という長い年月、何しておったんですか。これを聞きたいんです。ましてや、このときの時代の計画は、高野口町の幹線道路だったと思うんですよ。それが、高野口駅前から、今聞きましたけれども、あの当時はまだまだ桑畑で、何も家も建ってありませんでしたのが、それが野ばなしにして、今はもう密集地になっております。だから、西之島、大野からは順番にやれとは私は言いません。できるところから着工してもらいたい。今、京奈和もご存じのとおり、着工できるところからやっておると思います。そのように計画してもらいたい。

というのは、計画を立てた時点で、この地域は、地域の活性化、また住民の利便性を考えて計画したものだと思います。なお、今の時代では老人の、高齢化社会で、老人が車に今まで乗っておった人が乗らなくなった。だから買い物に行くにも非常に、国道を渡っていかなければならず危ないと。そういう時代と。

そして、今年、夏にもありましたが、高野口の災害、火災、このときに私もいち早く飛んで行って、消防士の方と話をしましたが、これはどこが発生地だと。それはこのAの地区だと。B、Cのほうが火災が多いじゃないか、なぜだと言いましたら、道路が狭くて対向車ができないんだと。そして、消火栓の水圧が鈍いんだと。だから、紀の川から引っ張るにあたっては、車の整理に手間取ったと。

だから、発生した家よりも類焼にあった家が多いんですよ。それが今の時代でしょう。昔の可搬式のポンプであればまだしも、今ははしご車も使う時代です。だから、この道路は本当にまだ民家も建ってありません。できるならこの土地からやってもらいたい。そう私は思うんです。

私がこの火事に行っていなかったら、そうもびんとも来なかったんですけども、それにしても、昭和18年から計画を立てておるんですから、その立てた人たちはどのような思いでおったかというのは、やはり人間で言えば動脈ですよ。血管ですよ。そう立てたものが今になって計画はないと。それはちょっとおかしいんじゃないですか。

私が言うのは、橋本市にも都市計画は数路線あるとは聞いておりますけれども、昭和18年から立てたというのは、おそらく和歌山県でも少ないんじゃないでしょうか。だから、これはもう一日も早く着工してやってもらいたい。というのは、土地さえあればすぐできますけども、土地から買収していかなければなりません。でなければ、途中までは買収は済んでおりますけれども、その近くに家でも1軒でも建ったらどうでしょう。今はもう立ち退き料でうんざりするんでしょう。例えば、橋本の駅前周辺でも何十億円と要るんでしょう。

今、この高野口の西之島伏原線、2,210m、これをやろうと思えば何十億円とかかるんですよ。それよりもできるところからしてやると。それがこれからの地域の発展のため、老人の、車に乗れない方々が多くなっております。買い物に行くにも国道を渡って行くよりも、この道路を通って行ったほうが安全だということを切にお願いしたいんですよ。

そこで聞きたいのは、これはやっぱり計画立てていかなければならんのやけど、これか

ら新たに計画して、順位を決めてと、どうい
うふうな心境で今、返答したのでしょうか。
これを聞きたいですわ。

高野口町の町民も、これを16年に私が一般
質問したときに署名を取って、皆さんが期待
をしておるんですよ。これは合併特例債、合
併特例債というのは、やはり道路と建物にし
か使えません。一般財源には使えないんです
よ。これが一般の人は、その特例債はこの道
に使うというよりも道路に使うということ
を期待しておるんですから。これを部長にお
聞きしたいんですけども、早急にこれは計画
をして、住民が安心して、地域の発展のため
にやってもらいたいんですが、いかがでしょ
うか。

○議長（中上良隆君）建設部長。

○建設部長（坂本信良君）ただ今のご質問で
ございますけれども、確かに、防災面という
切り口では、この西之島伏原線につきましては、
非常に有効な位置にあるのではないかな
というふうに感じます。しかしながら、旧高
野口町におきまして、道路整備プログラムを
平成10年に作成しているわけでございますけ
れども、その総事業費が118億円という事業
費を計上してございます。そういう状況の中
で、今、できるところからというお話でござ
いませぬけれども、都市計画事業の位置付
けといいますのは、できるところからできる
道路ではございません。起終点すべて整備
して、都市計画道路のネットワークの整備
がなされてはじめて事業効果が生まれると
いう道路でございませぬので、途中で切
って事業効果は出ないとは言いませんが
非常に少ない、ということが一点。

それから、もう一点、これは回答の中
でも詳しくは答弁いたしませんでしたが、
市道8号線、大野下中線、一番西側の道
路でございますけれども、この高架橋の部
分の平面交差、

これにつきましては、面的な計画のみな
されまして、現状、道路が交差点計画が
できない状況になっております。

それから、もう一点、高野口出張所から
東側、通称ばたれ坂の所の信号、交差
点の部分になるんですが、あそこのち
ょうど交差点の中心部を今回の街路が
通過することになるわけでございますけ
れども、縦断線形からいきますとかなり
低く計画道路がなりまして、掘割状
況になります。したがって、道路の沿
道が非常に使いづらい状況が発生して
くるというのが二点。

それから、答弁の中でもお答えさ
せていただきましたですけれども、通称、
何て言うんですか、ヨウサン学校の部
分、かなり良好な住宅地が形成されて
ございます。そのヨウサン学校を分譲
するときに、この都市計画道路が昭和
18年に都市計画決定されてございま
すから、その部分を外して分譲計画を
するのが通常の開発計画ということにな
ります。そういうところがある中で、
法線変更、当然考えていかないか
んですけれども、主要な部分すべて
くられてございますので、非常に難
しいところがございます。

それからもう一点は、道路の補助採
択要件でございまして、道路構造令の
改定が平成5年に改定されまして、
14m以上の道路が補助採択道路とい
う形になっておるかと思っております。
今回の都市計画道路につきましては、
12mということで、都市計画決定の
変更を行わないとできないということ
もございませぬ。先ほど答弁さ
せていただきました諸々の、新市の
まちづくりの骨組みが、しっかりした
骨組みができないと土地利用計画が
立てられないという意味で、道路の
見直しも当然やっつけていか
ないかんだらうし、そのまちづくりに
あたっての優先順位というものが
出てくるということもございませぬ。

以上でございます。

○議長（中上良隆君）8番 岡本君。

○8番（岡本昌次君）なるほど、部長の言うのはよくわかっておりますが、道路変更は当然考えていかなければならないと思います。順次、向こうから来るか、伏原から行くか。また伏原のほうから順次西向いて追うしか、いいんじゃないかと思えますけども、それは変更は当然していかなければならないんですけども、この道路を何とかやってもらえる意思があるのかなのか。このままいったら永遠に高野口町も廃退。年寄りももう早う死ぬと言うのと同じですよ、本当に。

なぜならば、道路の幅云々は私は、なるほど今現在はそうなるだろうと思えますけども、昔の人、今の年寄りはもう車に乗れないんですから。いっぺん通ってみて買い物行ってください。オークワの前の5路線、五の交差点、ものすごい危ないですよ。それを東へ行ったら、松源、今できましたね。あそこへ皆行きたがるので、行きたがるというと悪いけど、あそこへ行くにはその道路が一番ええんだと。そこへ出して、消防署もあこがつくってもらったらなおええと。これはもう本当に何かにつけてプラスですよ。マイナスではないんですよ。まして、合併のメリットといえば特例債じゃないですか。それをみんなが期待しておるんですから、とりあえず一日も早く、立案して、計画立て直して、県なり国なりに答申していただけますか。これをちょっとお答え願いたい。何度も言いますけど。

○議長（中上良隆君）建設部長。

○建設部長（坂本信良君）同じ回答になるわけでございますけれども、やはり市としての大きな骨組みを決めた上で、限られた財源の中で整備するというのは、やはり市民全員が望むところでございますので、その辺の優先

順位を決めた中で整備するという事になっていくのではないかとこのように思います。

○議長（中上良隆君）8番 岡本君。

○8番（岡本昌次君）優先順位はそうすると何位ぐらいになってますか。それを聞きたいですわ。そうなるんですよ。まだ、18年が、1年9カ月間、この話、道路のどもなかったんじゃないですか。副市長、手を挙げたのでちょっとお答えください。

○議長（中上良隆君）副市長。

○副市長（清原雅代君）優先順位は何位かというご質問ですけれども、それは建設部長がお答えしましたように、全体の計画ができた中で最終は決めていくものと思えますけれども、ただ、その計画ができて65年を経過しているということで、今までの旧高野口町の中で、それだけの期間できてこなかったという、やはり混乱性といいますか、事実もあるのかと思いますし、合併協議の中では、合併特例債にこの線の道路整備ということで上げておられるかと言われましたら、それは上げられてはおりません。合併特例債をこの道路の整備に使うという、主な主要事業の中には一応入っておりますので、そここのところについては、なかなか優先順位があまり高くないのかなというふうには思います。今後、全体計画の中で、市としてどういうふうにしていくかということは検討をしていきたいというふうに思います。

○議長（中上良隆君）8番 岡本君。

○8番（岡本昌次君）市の答弁は皆、検討、考えます、ね。もうその、その一言に尽きますけども、でも、私が期待しているのは早速、検討もいいんですよ。いつ検討してくれるんですか。そうなったら。そういうふうに質問されるから、じゃあできるだけ早い時期に計画しましょうと。これ、さっき、今副市長言うたように、高野口町にあったことを、

高野口町でできなかったことを言うけど、合併したから市に頼まな仕方ないんでしょう。違いますか。今から高野口に戻してくれますか。いや、そうですよ。だから、私の言うのは六十何年も前のこと、古いやつを捨てて、新しい行け言うんかい。そうは行きませんわな。やはり古きを、いう言葉でありますけども、これもひとつ市長、考えていただけますか。でなきゃこれ、6時半になってしまうがな。簡単な、やりますでええんですよ。もう皆さん見てください。市長、どうでしょう。

○議長（中上良隆君）市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）岡本議員の再質問にお答えしたいと思うんですが、なかなか、私、一つ疑問を持ちますのは、戦前の都市計画、それを今、どんどん生きておるんですよというのはよくわかるんですが、神武景気、岩戸景気の中で高野口として重要であれば、まずそこからなぜ手をつけなかったのかなと。高度経済成長に乗って、高野口もものすごいまちが発展されました。その時にやっぱり第一番か二番ぐらいの順位で、すかっところできなかったのかなということ私、感じるわけですが、とにかく、朝まで議論をしておりますけど、一度検討の課題ということで、ひとつ今後進めてまいりたいと思います。

○議長（中上良隆君）8番 岡本君。

○8番（岡本昌次君）言葉の端々拾うて申し

わけないんやけど、なぜそこまで放っておいたんだ。私、合併しなかったらこれ、やりますよ。町で。そない言いたくなるんですけどもね。これから、道路なくして、今はもう昔の生活三原則といえば、衣食住。今は違いますよ。衣食道ですよ。なぜ道で、今、先ほど並べた消防からお年寄りから経済の発展、やっぱりそうですよ。道路のある地域は発展してますわ。それは言えます。だから、道路はやっぱりほしいですね。これは要望というたら、私は16年に要望してますからね。ぜひこれをやってもらいたいとお願いして、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（中上良隆君）これをもって、8番 岡本君の一般質問は終わりました。

○議長（中上良隆君）お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ延会とし、明12月11日午前9時30分から会議を開くことにしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ご異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

本日は、これにて延会いたします。ご苦労さんでした。

（午後5時58分 延会）